

デフレが始まった？中国での消費スタイルの変化

弁護士法人大江橋法律事務所
弁護士 松本 亮

PROFILE

中国はこれまで右肩上がりに経済成長を続けていたため、物価が高くてもモノがどんどん売れる時代が続いていた。しかし最近の中国では、長年日本が陥っていたデフレを連想させるような消費スタイルが流行しつつあると感じることがある。

その典型的な例として、昨年から流行している「特殊兵式旅行」と呼ばれる旅行形態が挙げられる。「特殊兵式旅行」とは、特に若者の間で流行している個人旅行のスタイルであるが、いかに安くかつ効率的に観光名所を回りその土地の名物を食べて回るかという、いわば特殊な任務を課せられた兵士のように旅行するスタイルのことをいう。基本的には一日で宿泊や休憩をせずに回るプランが多いようであるが、いくつかの観光都市を回るプランもあるようである。その場合、夜行列車や夜行バスに乗ってホテル代を節約したり、できるだけ短い時間で多くの都市や観光名所を回ったりと工夫を凝らしている。以前はせっかく旅行に行くのだからと、普段より高い金額を支払ってでも、旅行先の食事やホテルでの非日常を楽しむといったスタイルが好まれていたことに比べると、このような「特殊兵式旅行」が流行することは大変興味深い。私が大学生の頃にあったいわゆるバックパック旅行は、いかに安く、長い時間をかけて旅行できるかというスタイルであったが、「特殊兵式旅行」はいわゆるタイムパフォーマンスも意識している点がいかに現代らしい特徴だと思われる。

次にいわゆる均一価格の理容店の流行が挙げられる。カットだけであればおよそ20元（約400円）と非常に安い金額に設定されており、クーポンを使えば14元（約280円）でも

可能である。これまでもこのような理容店は存在していたが、都市部では高い美容院のようなところが好まれる傾向にあった。それが最近になって、このような安価な均一価格の理容店の店舗が増加しており、消費者に支持されるようになりつつあるのだろうと思われる。

また上海ではコーヒーが大流行しており、カフェの数が世界一だというデータもある。このカフェのコーヒーの価格設定についても、米国系の緑色の某有名カフェは日本以上に高い金額に設定している（感覚的には円安もあって1.5倍程度である）。弊所の上海事務所の1階にもあり、以前は中国の人たちが緑色の看板の前に行列を作っていたが、最近是比较的安いチェーン店のカフェも増えてきており、行列を見ることが少なくなった気がする。これもデフレの兆候の一つであろうと感じている。

これらの消費スタイルは最近になって始まったというわけではないかもしれないが、最近特に流行しつつあるという状況からすると、これまでのように、たくさん稼いでどんどん使うといった消費スタイルから、財布のひもが固くなり、自分の身の丈に合わせて楽しむ消費スタイルに変りつつあるのではないかと感じている。

以上

具体的な事案に関するお問い合わせ ☒ メールアドレス：info_china@ohebashi.com

本ニュースレターの発行元は弁護士法人大江橋法律事務所です。弁護士法人大江橋法律事務所は、1981年に設立された日本の総合法律事務所です。東京、大阪、名古屋、海外は上海にオフィスを構えており、主に企業法務を中心とした法的サービスを提供しております。本ニュースレターの内容は、一般的な情報提供に止まるものであり、個別具体的なケースに関する法的アドバイスを想定したものではありません。本ニュースレターの内容につきましては、一切の責任を負わないものとさせていただきます。法律・裁判例に関する情報及びその対応等については本ニュースレターのみには掲載されるべきでなく、必要に応じて別途弁護士のアドバイスをお受け頂ければと存じます。